

お元気ですか？

ogenkidesuka

第83号

公立富岡総合
病院ニュース

- 救急医療情報キット（安心カード）作成の勧め
- 緩和ケアチームの紹介
- 抗生物質が効かない耐性菌とは？
- シリーズ職場紹介（3A病棟）
- 夏休み病院探検を開催しました
- 知って得する健康教室
- 地域医療連携だより



「中秋の名月」撮影者：佐藤尚文

発行

富岡地域医療企業団

公立富岡総合病院

〒370-2393 群馬県富岡市富岡2073-1

☎ 0274-63-2111 📠 0274-64-1406

✉ tomihp@mail.gunma.med.or.jp

🌐 <http://www.tomioka-hosp.jp>

～自分の薬名 いざという時言えますか～

救急医療情報キット(安心カード)作成の勧め

内科 飯塚 邦彦

平成23年3月11日と聞けば未曾有の被害を我が国にもたらした東日本大震災が脳裏に浮かぶ方が多いと思います。私は富岡総合病院の災害援助チーム5人のリーダーとして南三陸町に応援に行き、志津川中学の教室で被災者の方々と接しました。停電の夜「おぼんです」という挨拶をかわす風景が温かくも強い東北人生活を感じ感心しました。しかし他方感心できない事もありました。自分の薬名を私達に説明できる患者さんがあまりにも少ないのです。南三陸町では地域医療の要だった志津川病院が津波で破壊された結果、カルテも流されてしまい調べようがありません。本人が自分の治療薬を知らない、同等な薬効を期待できるお薬を災害現場で見繕うことができません。支援助物資の中には同種同効薬はあっても、全く同じ名前の同じ薬は入手できないのです。「血圧の白い粒の薬が朝1回、粉の薬が毎食後3回、それに塗り薬と目薬が欲しい。」そんな具合で途方にくれました。しかしそれは東北だけの問題なのか？いいえ、富岡の私の外来患者さんに聞いても南三陸町とほぼ同じだったのです。

お医者さんで扱う薬はどのくらい種類があるのでしょうか。平成30年7月1日現在、厚労省に薬価収載(保険診療に用いられる医薬品)されている品数は1万6千程度あります。インターネットでみると降圧剤先発品が279件、後発品(ジェネリック)が1648件ヒットしました。こんなにも沢山あるのですから「血圧の白い粒の薬が朝1回」の情報だけで、今まで飲んでいた薬に巡り合う偶然は期待できませんよね。

ところで「救急医療情報キット」をご存知ですか。一人暮らし世帯で、緊急時に救急隊員が迅速な救急活動を可能にする道具です。もともと

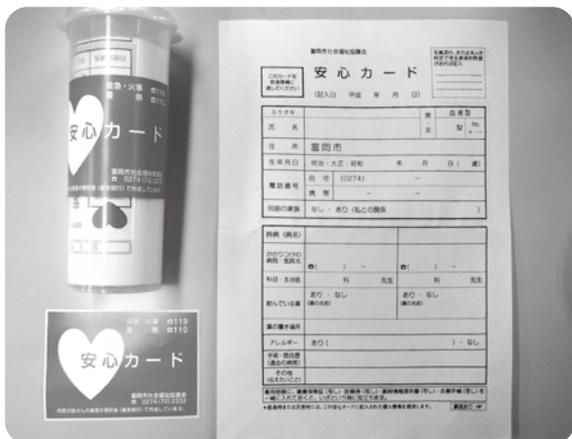
とアメリカのポートランド市で数十年前から始められ、現場で有効でした。平成19年(2007年)明治学院大学の岡本多喜子教授がWHO会議でこの仕組みのすばらしさを知り、東京都港区で平成20年5月から開始したのが我が国での始まりです。その後全国の自治体に普及し、群馬県内でも渋川市、沼田市が65歳以上の独居老人や老人だけの世帯、身体障害者などを対象としてキットを配布しています。当地区にも似た仕組みがないか私の外来患者さんに尋ねたところちゃんとするではありませんか。富岡市の社会福祉協議会の事業に、「救急医療情報キット」と同じ機能をもった「安心カード交付事業」が6年前から始まっていたのです。平成24年の富岡市広報に写真付きでこの事業が記載されています。ホームページ(<http://www.tonioka-syakyobz-office.net/index.html>)には対象者が記載されています。

- 1 65歳以上のひとり暮らし世帯
- 2 75歳以上の高齢者のみの世帯
- 3 障害者のひとり暮らし世帯
- 4 民生児童委員が必要と認めた世帯
- 5 その他、市内在住の希望する者

他地区よりも対象者は広く、その機能はオリジナルの「救急医療情報キット」と同じです。すなわち緊急連絡先・持病・かかりつけ医、お薬手帳や保険証の「コピー・顔写真添付指示、そして玄関先に貼る赤い「安心カードシール」が同封されています。この赤シールを救急隊が気付きやすい玄関先などに貼り、カード本体の筒を冷蔵庫の中や外側にセット(100円ショップで

売っているマグネットなどを利用)しておけば、有事に救急隊員が医療情報等の入手に費やす時間と搬送時間を短縮でき、あなたの救命率向上が期待できるのです。(武井泉:日老医誌2011年48巻4号p.323-335) 知らないのは私だけかと思ひ救急室の同僚に尋ねましたが、少なくとも当院の救急外来(甘楽富岡地区唯一の総合病院なのに)を見る限りまだ周知されていないようです。自分の薬の名前を言える方でも平成30年西日本豪雨災害のように、突然の身着のまま避難しなければならぬ事態もあるかもしれません。医療に参加する第二歩として、富岡市の社会福祉協議会「安心カード」の準備をいかがでしょうか。

追加:「京都救急医療情報キットを作る会」(<http://kyoto19kito.com/>)では自宅だけでなく、外出用のキット作成方法なども書かれており、外出先で倒れた場合など「安心カード」をご自分で進化させる事も可能だと思えます。



抗生物質が効かない 耐性菌とは？

薬剤部 若林 真弘

風邪を引いて抗生物質をもらいに病院を受診していませんか？風邪の原因は、80〜90%がウイルス感染といわれており、残念ながらウイルスには抗生物質は効きません。抗生物質は細菌に対して効果のあるものですが、不適切な使用により、その抗生物質が将来効かなくなってしまうことがあります。効かなくなってしまう抗生物質の代わりになる新薬が多く開発されれば問題ないですが、近年、その開発は滞っています。今、日本だけでなく世界中で「抗生物質の効かない菌」「耐性菌（薬剤耐性菌）」の増加が問題となっています。

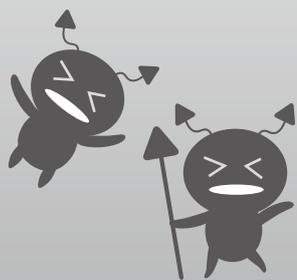
薬剤耐性菌が増えると、抗生物質が効かなくなることから、今まで適切に治療すれば軽症で治った感染症の治療が困難となる可能性があります。特に、免疫力の弱い子供や高齢者などは、感染症にかかると重症化しやすいため、使用できる抗生物質が減ると、命に危険を及ぼします。

この薬剤耐性菌の拡大を防ぐた

めの1つとして、抗生物質を「適切」に使用することが大切です。医師から内服するよう指示された抗生物質を、症状が良くなったからといって自己判断で中断したり、1回に服用すべき錠数や服用すべき回数を減らすと、十分な効果が期待できません。このような不適切な使い方をすると新たな耐性菌が出現するリスクが高まります。薬剤耐性菌を防ぐためには、医師や薬剤師の指示をしっかりと守って、抗生物質の必要な感染症に対して、適切な量を適切な期間、服用することが大切です。

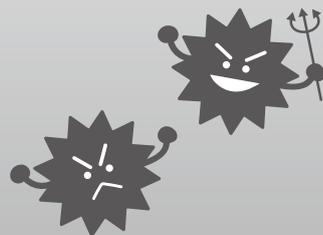
当院では、本年「抗菌薬適正使用支援チーム」が結成されました。医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師がチームとなり、抗生物質の正しい使い方によって治療効果を上げる手助けを行ったり、耐性菌の増加にも歯止めをかけるよう努力しています。

最後に皆さんも耐性菌を増やさないためにも抗生物質をむやみに欲しがらないで下さい。よろしくお願ひ致します。



細菌

抗生物質の効果あり



ウイルス

抗生物質の効果なし



興味
しんしんの
様子!

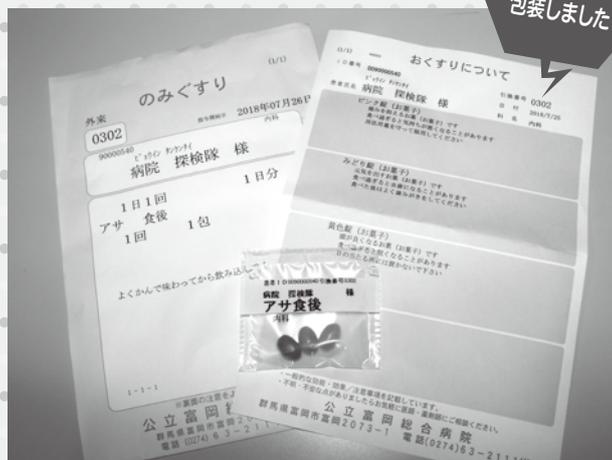


第3回

夏休み 病院探検

を開催しました。

ゴミを薬に
みためて
包装しました



7月26日(木)午後5時30分～7時30分に小学生親子を対象とした『第3回夏休み病院探検』を開催しました。

この『病院探検』は、病院の仕事を見学や体験することで、子供たちに医療に興味を持ってもらい、将来、医療を支えていく人材になっていただけたらという想いで始めた企画です。普段、目にする事のない医療機器を見学したり、一部の機械はさわって動かすことが出来る貴重な機会です。

今年度は、小学校1～6年までの児童とその保護者17組にご参加いただきました。

参加者は4つのグループに分かれ、薬局(調剤室)、検査室、放射線治療室、高気圧酸素室の4つの部門を廻り、探検隊として様々な見学や体験をしました。

○**薬局(調剤室)**は、今年度初めて紹介した部門です。3種類の機械を子供たちが操作し、薬を調剤する体験をしました。

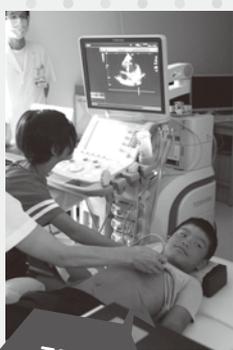
○**検査室**は、例年好評の超音波検査(エコー検査)の紹介をしました。希望者は、自分の心臓の動きを、エコー画像で見ることが出来ます。

○**放射線治療室**では、ブラックボックスに入れた文房具をCT検査装置にかけ、立体的な画像ができるまでを見学しました。

○**高気圧酸素室**では、高気圧酸素装置に入ってみる体験を行いました。



薬剤部で粉薬を
量っているところ



エコーを
お友達に
当ててみる



高気圧
酸素装置に
入ってみました



ひとりひとりに
修了証を
渡します

探検終了後には、院長より修了証の授与が行われました。

今年の質問コーナーでは、「リニアックの機械はいくらなの?」と答えるに難しい質問から、「救急車は何台くるの?」「飲み薬で一番大きいのは何センチ?」「救急車は何分くらいで来るの?」と夏休み自由研究に役立つような質問、「勉強は何時間したの?」「何でお医者さんになったの?」と今後の人生に役立つような質問など、沢山の質問をいただき、ありがとうございました。

今後、楽しい企画を実施していきたいと思えます。ご参加お待ちしております。

薬剤部 副部长 福澤悦子

緩和ケアチームの紹介

患者さんは、病気に伴う痛み、だるさなどのさまざまな症状や、気持ちが落ち込むなどの心のつらさを経験します。「緩和ケア」は、体や心のつらさをやわらげるためのケアです。緩和ケアは終末期のケアではありません。つらい症状を治療中だから仕方がない、病気が良くなるまで待つしかないなど、我慢する必要は決してないのです。つらいことが緩和されれば、穏やかな日常生活を送ることが可能になります。入院中の方も、外来通院しながら自宅や施設等で生活されている方も、病気の治療と一緒に緩和ケアを受けることができます。

緩和ケアチームは、体や心のつらさを和らげる医師、看護師、薬剤師などの多職種で構成されるチームです。緩和ケアについての資格を持つスタッフが、より専門性の高いケアを提供しています。また、患者さんやご家族の体や心のつらさを和らげることはもちろんですが、主治医の先生には言いにくいことや病気、治療以外の相談にも応じます。患者さんだけでなく、ご家族も遠慮せずに相談してください。患者さんにご家族との対話を通して、自分らしい生活が送れるように支援していきます。



緩和ケア外来や緩和ケア病棟に関する問い合わせや療養中のご相談を電話でもお受けしますので、以下の連絡先まで、お気軽にご連絡ください。

公立富岡総合病院 緩和ケアチーム看護師 小池

0274(63)2111(代)

職場紹介 3A病棟



3A病棟は、主に外科・泌尿器科・消化器科・内科を中心とした混合病棟です。

外科・泌尿器科では特に手術を受ける患者さんが多く入院されています。スタッフ総勢で35名です。皆明るく、フットワークが良いのが特徴です。

予定手術・緊急手術・化学療法その他、入退院数が20名を超える日もあり、めまぐるしい日々の業務ですが、コミュニケーションを大切にして、患者さんの安全を第一に看護を行っています。

また、日々の看護を行う中で、患者さんの手術に対する不安の軽減や退院後に困らないよう、生活背景や個別性を考えながら看護を行っています。処置などを覚えて帰る患者さんも多くいらっしゃるので、医師、看護師、薬剤師、リハビリ、医療相談員と連携を取りながら、患者さんやご家族の方と関わっています。

このように、めまぐるしい日々ではありますが、3A病棟のお母さんの存在のマネジャーのもと、今後もより良い看護を提供するためスタッフ一同笑顔で頑張っています。



知って得する健康教室

～健康は姿勢から、自分の姿勢をチェックしよう～
 「体と心の姿勢を見直して、健康長寿を目指しましょう」

開催日時 平成30年**10月28日**(日)
 午前9時～正午

実施場所 健診センター

参加費 **無料**

定員 30名(申し込み順)



*当日は動きやすい服装・靴で来てください。 *当日の血圧が高めの方は、できない測定があります。



当日の予定

9時～受付開始

体験①「体力測定」

10時～

講座①「健康寿命」

講座②「体の姿勢を保つ筋肉・食事・生活習慣」

10時35分～

おやつタイム

10時45分～

体験②「椅子でできる運動」

講座③「心の姿勢を保つヒント」

11時30分～(希望者)

『健康相談コーナー』 保健師・看護師がお答えします

申し込み・問い合わせ先

公立富岡総合病院 健診センター Tel.0274-63-2111 上田まで



地域医療連携だより

地域がん診療連携拠点病院強化事業

公立富岡総合病院 市民公開講座

『命の値段』 ~The price of life~

場所 JA甘楽富岡ヴァンヴェール(群馬県富岡市富岡2638-1)

日時 2018年11月9日(金) 開演:18時30分~20時



講師 國頭 英夫 先生
日本赤十字医療センター化学療法科部長

**講師
紹介**

1961年 鳥取県生まれ
1986年 東京大学医学部卒業
1990年 横浜市民病院
1996年 国立がんセンター中央病院
2009年 三井記念病院
2014年 日赤医療センター

参加費無料申し込み不要
どなたでもご参加いただけます

主催:公立富岡総合病院 協力:富岡甘楽介護支援専門員連絡協議会

お問い合わせ先

公立富岡総合病院 地域医療連携課

TEL.0274-63-2111 FAX.0274-64-1406

E-mail msw2005@tomiokahosp.jp